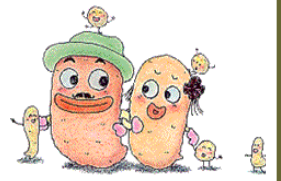


湯戸飛夜いけいけだより



Jinen Joe family

発行 西徳山まちづくりの会

記事:

- ・まちづくりの会
令和元年度総会
- ・地元の名産品紹介
「周防ハモ」
- ・連載小説
『涙にぬれた蒼き
思いー徳山七士物
語ー』第12回
- ・ソレーネ周南5周
年祭に出店
- ・花いっぱい運動
「花の種をまきまし
た」
- ・今後の行事予定

会員募集中

あなたも「西徳山
まちづくりの会」
で一緒に活動しま
せんか。会では、
常時、会員を募集
しています。

E-mail:

nishitokuyamamatizuk
urinokai@gamail.com

まちづくりの会 令和元年度総会

令和元年5月11日(土)12時20分から戸田駅前広場で、令和元年度定期総会を開催しました。参加者は13名でした。戸田駅を中心としたこれまでの活動を継続し、西徳山地域が活性化するまちづくりを行っていくことや、ソレーネ周南がイベントを行う際には積極的に参加することを改めて確認しました。

総会后、引き続き戸田駅前広場でサザエ、イカなどの新鮮な海鮮バーベキューで懇親会を開催し、今後の活動について話しながら、楽しく盛り上がりました。

【令和元年度活動方針】

- (1) 戸田駅を中心とした活動を継続する
 - ①西徳山の玄関口である戸田駅を「花の駅」として整備する
 - ・戸田駅を花で飾る…花壇の花の種類を増やす。
 - ・「湯戸飛夜いけいけだより」で「花の駅」を積極的にPRする。
 - ②戸田駅前でのイベントを継続する(スタミナ補給BBQ大会、秋覚祭など)
- (2) 「道の駅ソレーネ周南」を拠点とした活動に取り組む
 - ①「道の駅ソレーネ周南」の盛り上げに協力する(イベントへの参画など)
- (3) 西徳山の発展を目指した新たな活動に取り組む
 - ①“観光資源”“自然環境”を活かした活動を目指す
 - ・西徳山3地区の歴史・観光・史跡を紹介したMAPをつくる(ウォークMAPと連動)
 - ・地元の有名人を探し「湯戸飛夜いけいけだより」で紹介する
 - ②西部地域のウォーキングコースをPRする
 - ・「てくてくウォーク」のコースマップの作成とマップのHPへの登録
- (4) 交流・研修・広報活動に取り組む
 - ①研修旅行、見学会の開催
 - ②「湯戸飛夜いけいけだより」の定期発行
- (5) 組織を充実し拡大する
 - ①会員増強
 - ・広報、イベントを活用して会員を増やす
 - ②会員の参加を促す
 - ・会員の多くが参加できるイベントを考える
 - ・映画鑑賞等のイベント
- (6) 他の諸団体と連携し効果的な活動を展開する
 - ①他団体との連携
 - ・地域で行われるイベントへ参加し、自治会などの地域住民とも連携して、まちづくり活動を継続する。
 - ②行政との連携及び提案



地元の名産品紹介

「周防ハモ」

周南市の水産物でブランドに指定されているのが、徳山ふく（河豚）、周南タコ、そして周防ハモの3つである。



フグは杵島がはえ縄漁の発祥の地として有名である。タコも戸田のタコの品質の良さには定評があり、静かなブームを呼んでいる。

そして忘れてはいけないのが、周防灘の豊かな海で獲れるハモだ。ハモはもともと丸くて長い生き物だが、夏はそのハモが真ん丸になり、見るからにおいしそうなのだ。シーズンにはかなりの漁獲量があり、祇園祭の頃には京都に送られているそうだ。そして高級食材として供されている。

それでは捌く手順を見ていこう。まずハモを開き、まんなかのおおきい骨をのぞく、次に背びれと腹びれを骨ごと引き抜くようにして取り除く。この技術は高度で料理人でなければなかなかうまくいかない。だから夜市の魚屋は3枚におろす。



ハモは骨が多く複雑に入り組んでいるので、骨切りをしなければいけない。こいつ



が魚屋泣かせの作業で横に数ミリ単位で切っていく。50cmくらいのハモを10本も骨切りすると、うんざりする。だが、これが私の仕事だと思って頑張っている自分が愛おしくもある。

さて、骨切りしたハモは、ひと口大の大きさに切って、沸騰した湯にくぐらせる。この時あまり茹ですぎると、ハモの身はボロボロになるので要注意。20秒くらいのものだ。



湯の中を通したハモをざるに救い上げ、冷水でさっと冷ます。しばらくして、水分をクッキングシートなどで十分とった後は、盛り付けて酢味噌や梅肉をつけて食べる。これがハモの湯引である。

そのほか、てんぷらやしゃぶしゃぶ、お吸い物などいくらかでも食べ方がある。口の中でほわっとする食感がたまらない。ハモは漢字で「鱧」と書く。その名のとおり豊かな魚なのである。

(魚屋の康ちゃん)

連載小説

『涙にぬれた蒼き思い—徳山七士物語—』 第12回 文 城山 耕作

「河本源蔵、ようやく捕縛したか。斬られたこの痛み、決して許さぬぞ。厳しく取り調べ、大城清、井上唯七、浅田又之丞、本田久太夫らも連座している証拠をつかみ、処罰するのだ。」と、家老の野上は、田中一学に強く命じた。

河本源蔵は、8月28日から白洲に引き出され、取り調べが始まった。野上家老を襲撃した経緯について、大城清たち徳山七士も関与している証拠がないか、連日細かく取り調べを受け続けるが、「他の者の関与はない。処罰は、私一人でよい。」と河本は全く譲らなかった。

9月に入り、河本家は断絶となった。「私は、私利私欲でわが藩を動かす野上家老が許せない。そのため直談判に向かったが、我がもの顔の態度に、倒す以外にないと考えた。」と、河本はなお、白洲で堂々と述べた。

22日、奇兵隊150人が徳山藩に到着し、長州征伐が差し迫っている緊迫感が徳山藩に流れた。また、先の京都での敗戦で陣頭指揮をとっていた萩本藩の家老が徳山藩にお預けとなり、国司信濃が澄泉寺に、益田右衛門介が総持院に軟禁され、広島に集結している征討軍からも徳山藩が注目される状況となった。同じ家老の福原越後は、徳山藩主の実の兄であるため、徳山藩に預けられることはなく、岩国の龍護寺に軟禁された。

萩本藩では、幕府に恭順する姿勢を示す棕梨藤太たちの動きにより、重臣周布政之助は藩内での立場を完全に失い、朝敵として追い詰められた長州藩の行く末を案じ、先の京都での敗戦の責任を負うため、庄屋吉富藤兵衛邸の庭先で切腹、自らの命を絶った。幕府に抗戦の姿勢を示す志士たちは、旗頭を失ってしまった。

10月になっても河本は他の志士の関与を認めず、「野上家老が自らの罪を認めず、徳山藩を悪しき方向へ導くのであれば、襲撃の罪により、私を早々に処罰されたい。藩が滅

びることを見たくない。」と白洲で述べ、潔さに牢獄の番人も感心した。

「いまだ、河本は他の者の連座を認めぬか。いつ征討軍が長州藩内に攻め入ってくるか分からぬ。仕方がない、襲撃の罪などにより、河本を厳罰に処せ。」と家老の野上は田中一学に指示すると、翌日の白洲により、河本源蔵の斬首が決まった。

10月24日、浜崎の牢から刑場に、2名の徳山藩士が移された。河本源蔵と井上唯七。

河本源蔵は刑にのぞみ、国を憂い、長州藩を案じ、自らの行動に悔むことなく、辞世を口にして身を預けた。武士にとって、切腹ではなく斬首の処分は屈辱となるが、口にする事は無かった。刑場の張りつめた空気の中、清められた刀により、一閃が光った。享年23歳、一気に走り切った生涯を終えた。

河本の刑死後、同じ刑場で井上唯七が刑にのぞんだ。井上は辞世として自らを「かげろう」に例え、「蜻蛉の有るか無きかの身をつめて 人の哀れも知られける哉」と詠み、無念さをにじませ、薄く涙しながら刑に服した。享年23歳。七卿落ちの警護や奇兵隊に入隊しての活躍など、身を賭して徳山藩、長州藩のために尽くした短い生涯を終えた。

二人が刑に服した日の空は、青空に薄い雲がさして蒼い空と変化していき、想いが反射されたかのようであった。

(以下次号)



ソレーネ周南5周年祭に出店

西徳山まちづくりの会

編集後記

桜田中学校の生徒総会を傍聴した。

生徒全員が口の字型に集まり、その一画は議長、記録係が占める。生徒の後ろ側には生徒会執行部が控える。発言者の顔が見える形が整えられている。

テーマは、あいさつ運動をどのように展開するか。自分たちの学校の校歌をしっかりと覚えて、きちんと歌えるようにするにはどうしたらいいか。登下校の安全はどうすれば守れるか。の3つの課題に対し、議長の進行もさることながら、生徒の意見もどんどん出る。人の話をちゃんと聞く。まことに理想的な総会でした。究極的な直接民主主義の形ではないでしょうか。

私たちが住むこの西徳山に、こんなに優秀な中学校があるということを誇りに思うし、この中学生が私たち大人の後姿を見ていると思うと、自然と背筋が伸びてくる。

きちんと話し合っ、ちゃんとしたいけいけ便りを続けなければならないと改めて思った。



去る5月19日(日)、「ソレーネ周南5周年祭」が開催され、私たちまちづくりの会は、イカ焼きで屋台村に参加しました。

当日は昼前から小雨が降り始め、寒い1日でしたが、訪れた人たちはステージイベントを楽しまれていました。

準備したイカ焼きを完売できず、残念でした。

(呑爺)



花いっぱい運動

「花の種をまきました」

周南市との協働作業の一環で、「種から育てた苗づくり」に参加しています。

今年は マリーゴールド、ブルーサルビア、千日紅、百日草の種をまきました。

今は、ふたばが出たあとの苗をポットに植え替えて、液肥をやりながら育てています。

ヨトウムシやナメクジ、ネキリムシと戦う毎日です。夏には、水やりにも汗を流して、健康生活を実行!?

(ワタちゃん)



マリーゴールド



千日紅



花壇に苗を植えました

今後の行事予定

戸田駅前ピアガーデン

日時 令和元年7月27日(土) 正午から

西徳山まちづくりの会全体会

原則として毎月第1水曜日の19時30分から
夜市市民センター

戸田駅前広場周辺の清掃

毎月第2、第4土曜日の17時から、戸田駅前広場の清掃と花壇の手入れを行っています。

お手伝いしていただける方、大歓迎です。



発行責任者

会長 神本康雅
広報部長 木曾裕子

西徳山まちづくりの会

ホームページ URL:

nishitokuyama.web.fc2.com